

2012年11月8日(木)
メディカル・データ・ビジョン株式会社

日本で唯一のデータベース、患者約400万人の薬剤処方実態を日単位で分析できる点が高評価
**メディカル・データ・ビジョンの製薬会社向け診療データ分析ツール「MDV analyzer」
発売開始から3ヶ月で国内外の大手製薬会社5社から受注**
～製薬会社以外の医療関係企業様との商談も進行中～

医療情報のネットワーク化を推進するメディカル・データ・ビジョン株式会社(本社:東京都千代田区 代表取締役:岩崎 博之 以下、MDV)は、当社が提供する製薬会社向け診療データ分析ツール「MDV analyzer」の受注実績が、国内外の大手製薬会社5社に到達したことをお知らせいたします。

MDVは2003年8月の設立以来、「患者メリットの創造」と「医療制度・仕組みの改革」を企業理念に掲げ、医療データのネットワーク化に取り組んでおります。

2012年8月からはEBM(Evidence based medicine = 根拠に基づいた医療)の実施が期待できる製薬会社向け診療データ分析ツール「MDV analyzer」の提供を開始いたしました。

薬剤の処方実態分析に必要なデータベースが不足しているという現状の中、患者約400万人(2012年10月末日現在)の薬剤処方実態を日単位で分析できる「MDV analyzer」は、日本唯一のデータベースとして高評価をいただき、提供開始から3ヶ月で国内外の大手製薬会社5社からの受注をいただくまでとなりました。

現在は製薬会社のみならず様々な分野の医療関係企業様との商談を進めており、年内には10以上の企業様への導入を見込んでおります。

< 「MDV analyzer」の概要 >

「MDV analyzer」は、日本で唯一、患者約400万人の薬剤処方実態を日単位で分析できるWEB分析ツールです。当社が提供する商品であるDPC分析ベンチマークシステム「EVE」を導入している656病院(2012年10月末日現在)のうち、約125の急性期病院から提供いただいている(2012年10月末日現在)診療データを蓄積しています。

「MDV analyzer」を導入することで、データ不足を原因に十分な分析が難しいとされていた、どのメーカーの薬剤がどのような診療科でどのような疾患に処方されているのか、どのメーカーのどの薬剤に効果が現れているのか、などの具体的な薬剤の処方実態分析が可能となります。

なお、当該ツールに蓄積されているデータは全て、医療機関からのデータ提供許諾を得ています。また、個人情報保護に関する法令を遵守し、医療情報を取扱う各種ガイドラインに準拠した運用により、セキュアなデータ取得・管理を徹底しております。

1. 「MDV analyzer」の主な機能

処方数分析・処方日数分析

薬剤Aの平均処方量、処方患者数、薬剤Bと薬剤Lを併用している患者数・処方金額、疾患B患者における薬剤Cの平均処方日数などが分析可能です。

診療科分析

薬剤Aを処方している診療科、疾患B患者に薬剤Cを処方している診療科などが分析可能です。

薬剤・疾患ランキング分析

疾患Aで処方されている薬剤一覧、薬剤Bと併用されている薬剤一覧などが分析可能です。

薬剤Aを処方されている疾患ランキング、疾患Bと併発している疾患ランキングなども分析可能です。

併用・併病パターン分析

薬剤A、B、Cの組み合わせパターン毎の患者数、疾患D、E、Fの組み合わせパターン毎の患者数などが分析可能です。

2. データ提供施設

DPC対象の急性期病院1,504病院のうち、約8%にあたる125病院からデータ提供をいただいております。
がん拠点病院41病院(国指定26病院、都道府県指定15病院)を含む。

項目	データ取り込み完了(外来データ使用可能)	データ提供病院構成	
病院数	125病院(101病院)	199床以下	25病院
病床数	43,500床(34,444床)	200～499床	78病院
平均病床数	348床(341床)	500床以上	22病院

年代別実患者総母数(2008年4月～2012年8月)	
0～14歳	13.5%
15歳～64歳	52.5%
65歳以上	34.0%
合計	458万人

(注1) 「2. データ提供施設」の記載数字は2012年10月末日現在

(注2) 「MDV analyzer」で分析が可能なのは、年代別実患者総母数に記載されている人数のうち、2010年4月～2012年8月の期間における患者400万人分のデータとなります。

3. 価格

2,000万円(年間)

< 「MDV analyzer」を導入した企業の皆様の声 >

自社の薬剤がどのような年齢層・疾患で使われているかがすぐに分かるので助かる。

レスポンスが早く操作性もシンプルで使いやすい。

新規参入分野の処方動向が簡単に把握できる点が良い。

症例数が多いので、他のデータベースでは取得が難しい疾患の症例数や処方動向がわかるのがいい。

従来わからない手術別の処方動向を分析できる点を高く評価する。

患者の年齢層のバランスがとれているため、高齢者に関する情報も十分に把握できる。

患者数のバックグラウンドが十分な情報量で把握できる。

疾患ごとに処方量が大きくことなることが「MDV analyzer」を用いて初めてわかった。

< メディカル・データ・ビジョン株式会社概要 >

MDVは2003年8月の設立以来、「患者メリットの創造」と「医療制度・仕組みの改革」を企業理念に掲げ、医療データのネットワーク化に取り組んでおります。経営支援システム「Medical Code」やDPCデータ分析システム「EVE」をはじめとする医療機関向けシステムの開発・販売のほか、医療データを活用した調査・分析を展開しています。

商 号：メディカル・データ・ビジョン株式会社

所 在 地：東京都千代田区神田美土代町7番地 住友不動産神田ビル10階

設 立：2003年8月20日

事 業 内 容：医療業界向け業務支援ツールの開発・提供